



今年も千葉勢を中心南関勢が一丸となって、「滝澤正光杯」を獲りにいく。昨年の決勝は千葉4人で結束したが、佐藤博に優勝をさらわれた。舞台が松戸競輪場に変わつても、この大会にかける思いは不变だ。山中秀将に郡司浩平と自力は2枚看板をそろえ、追い込みも和田健太郎、成清貴之に滝澤氏の愛弟子、伊勢崎彰大（希望は裏面下に掲載）も開催。こちらにも注目だ。